

UCHIDA Design Support System

Jupiter2

～サンプルボード作成支援システム～
マニュアル

Contents

1. 概要	1
2. 動作環境	2
3. データの利用目的について	2
4. インストールディスクについて	2
5. インストール	3
6. Jupiter2 の起動	5
7. 環境設定	6
8. リストの作成・編集	7
9. サンプルボードの作成・編集	10
10. ユーザーデータ登録・編集	13
11. Q&A	15
11. お問い合わせ	16

1. 概要


Jupiter2 はサンプルボード作成、商品リスト(画像付、画像なし)作成、商品(カタログ)画像検索を目的としています。サンプルボード、商品リストはプリントアウトの他に、Excel ファイル、PDF ファイルへの出力にも対応しています。Excel ファイルとして出力した場合、自由に加工することが可能です。

サンプルボードのフォーマットは 6 種類あり、一つのファイルに複数のフォーマットを混在させることが可能です。サンプルボードは A4、A3 で、商品リストは A4 で出力できます。

■ サンプルボードフォーマット



■ 商品リスト

No.	品名	イメージ	単価	数量	金額	備考
新館1F/ミーティング						小計 739,095 (税込)
1	ミーティングチェア M00-20 型番: 1-081-0111		34,545 (税込)	1	34,545 (税込)	
	メーカー: US20					
	サイズ: W600xD450xH750					
	材質: 木					
2	ミーティングチェア M00-22 型番: 1-021-0083		37,695 (税込)	1	37,695 (税込)	
	メーカー: US20					
	サイズ: W600xD450xH750					
	材質: 木					
	ミーティングチェア M00-20		22,995 (税込)	1	22,995 (税込)	
	型番: 1-081-0083					

No.	型番	品名	単価	数量	金額	ページ/サイズ/質量	備考
新館1F/ミーティング						小計 739,095 (税込)	
1	1-081-0111	ミーティングチェア M00-20	34,545 (税込)	1	34,545 (税込)	US20 W600xD450xH750	
2	1-021-0083	ミーティングチェア M00-22	37,695 (税込)	1	37,695 (税込)	US20 W600xD450xH750	
3	1-021-0090	ミーティングチェア M00-20	22,995 (税込)	1	22,995 (税込)	US20 W600xD450xH750	
4	6-412-4103	ラジコンチェア(GM-300)11号 脚: アルミ/クッション: コーブル レザー(黒)	90,720 (税込)	1	90,720 (税込)	US20 W600xD450xH750	
		ラジコンチェア(GM-300)11号	18,400 (税込)	1	18,400 (税込)	US20	

■ 他のソフトウェアとの連携

旧バージョン Jupiter1 のリスト(*.ls)ファイル、サンプルボード(*.sb)ファイルを読み込むことが可能です。Venus や Rabbit(見積システム)、OD-Pro2*1からも、ls形式でデータ出力をすることにより連携することができます。また、Jupiter2 から ls形式でファイル出力することが可能なので、Jupiter2 データを Venus、Rabbit で利用することもできます。

*1 OD-Pro2(メガソフト社製品)ではツールメニューの「フロア別パーツ集計表」、「ゾーン別パーツ集計表」の「Jupiter 用フィールドセット」により一覧表を表示し、それを csv ファイルで保存します。保存した csv ファイルを「メモ帳」で開きファイルの先頭に改行を 2 つ入れ上書き保存します。そのファイルの拡張子を ls に変更することにより Jupiter2 で読み込むことができます。

Jupiter 用フィールドセットが表示されていない場合は、
床名称1、床名称2、(空)、品番、数量、(空)を 26 回追加し
「Jupiter 用フィールドセット」として登録することができます。

2. 動作環境

Jupiter2 は Windows XP 用のソフトですが、以下の環境でも動作報告があります。但し動作保証ではありませんのでご了承下さい。

OS: Windows 7, 8.1, 10 (64 ビットを含む) が動作する環境

Office: Microsoft Excel 2003 以上必須 (32 ビット版のみ)

アプリケーション実行環境: Microsoft .NET Framework 3.5

ハードディスク空き容量 500MB 以上 (2GB 以上を推奨)

3. データの利用目的について

Jupiter に収録の画像データ、商品データは商品説明にご利用いただくことを目的としてご提供しております。目的以外でのご利用は固くお断りいたします。

4. インストールディスクについて

インストールディスクは DVD です。DVD を読み取り可能な装置が必要です。

DVD のルートフォルダには img1、col、dotnet_install、kyouiku の 4 つのフォルダと setup-jp2office.exe、Jupiter2 マニュアル.pdf の 2 つのファイルがあります。

DVD の内容を USB メモリなどの媒体にコピーしてインストールを行うこともできます。

5. インストール

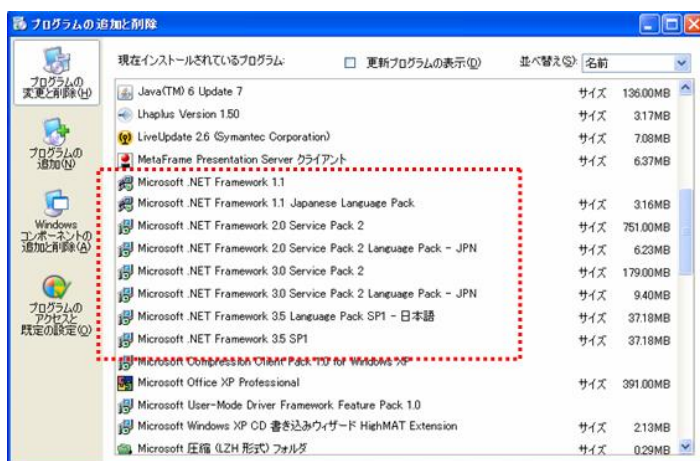
Jupiter DVD-ROM をパソコンにセットします。

1) Microsoft .NET Framework

Jupiter2 の動作には Microsoft .NET Framework が必要です。前年版からの更新の場合はインストール済みとなりますので 2) へ進んでください。

a) インストール状況を確認する

[コントロールパネル]の[プログラムと機能(またはプログラムの追加と削除)]を開きます。



現在インストールされているプログラムの一覧をスクロールし、一覧の中に

- Microsoft .NET Framework 1.1
- Microsoft .NET Framework 2.0
- Microsoft .NET Framework 3.0
- Microsoft .NET Framework 3.5

のいずれかがある場合は、Jupiter2 が動作します。

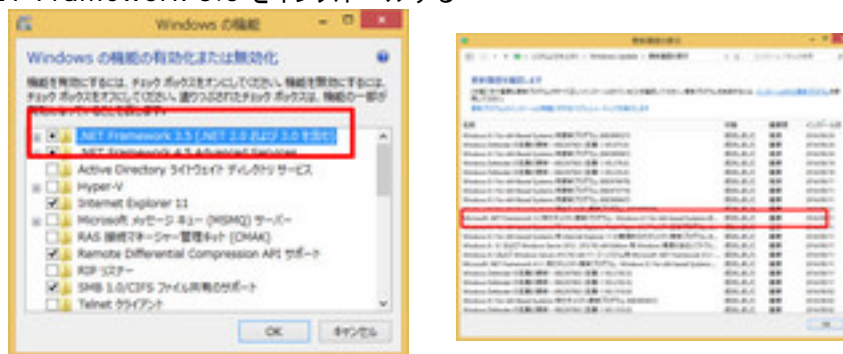
しかし、”.NET Framework 4/4.5/4.6”等では Jupiter2 は動作しませんので、以下の手順で.NET Framework 3.5 をインストールして下さい。

(参考)

Windows7 には.NET Framework 3.5.1 が、Windows Vista には.NET Framework 3.0 が最初からインストールされています。

Windows8 以降で最初にインストールされているのは.NET Framework 4.x なので、Jupiter2 を動かすためには.NET Framework 3.5 のインストールが必要となります。

b) .NET Framework 3.5 をインストールする



[コントロールパネル]の[プログラムと機能(またはプログラムの追加と削除)]から[Windows の機能の有効化または無効化]を開きます。

".NetFramework3.5(.NET2.0 および 3.0 を含む)" にチェックをつけて有効にします。自動的に Windows Update を要求してくる場合もありますので、その場合には画面に従って Windows Update を行ってください。

2) Jupiter2 プログラム・オフィス版テキストデータベース

DVD-ROM ルートフォルダの `setup-jp2office.exe` を実行します。インストール先フォルダはデフォルトで C ドライブの Jupiter2 フォルダとなっていますが、[参照]より任意の場所に変更可能です。前年版から継続して使用する場合は、同じフォルダにインストール(上書き)してください。

インストール中にデータベースファイルの上書き確認がありますが、ユーザー登録商品 DB を利用している場合以外は上書きを選択ください。

インストールが完了するとデスクトップ、及び、スタートメニューに Jupiter2 アイコン(ショートカット)が作成されます。

3) 教育版テキストデータベース

Jupiter2 教育版をご利用の場合のみ、DVD-ROM の Kyouiku フォルダの `jp2kdat.exe` を実行します。インストール先の確認がありますので、Jupiter2 インストールフォルダを指定(デフォルト設定であれば `C:\¥Jupiter2`)します。フォルダの確認、ファイルの上書き確認がありますので、[はい]を選択します。

教育版をご利用でない場合、この処理を行うと不具合が発生することがありますのでご注意ください。

4) 画像データ

画像データは DVD-ROM の `img1` フォルダ、および、`col` フォルダに収録されています。DVD-ROM からそのまま読み取ることも可能ですが、ハードディスクにインストールすることにより処理速度が向上し、かつ、利用の都度 DVD-ROM をセットする必要がなくなります。

画像データのインストールは、利用しているパソコンの任意の場所にフォルダを作成し、DVD-ROM の `col` フォルダと `img1` フォルダをフォルダごとコピーします。ハードディスクの空き容量が 1GB 以上あるドライブを選択してください。また、[環境設定] (6 節参照) でそのフォルダを指定する必要があります。

6 節の環境設定例では、C ドライブにインストールした Jupiter2 フォルダに `CD1` というフォルダを作成して `col` フォルダと `img1` フォルダをインストール(コピー)したとして説明しています。

Jupiter2 を前年版より継続してのご利用の場合、前年版の画像データをインストールしたフォルダの中身をすべて削除してから新しいデータをインストールしてください。

5) アンインストール

アンインストールする場合は Jupiter2 をインストールしたフォルダ、画像データをコピーしたフォルダを削除し、デスクトップやスタートメニューに登録された Jupiter2 ショートカットアイコンを削除してください。

6. Jupiter2 の起動



Jupiter2 を起動するには、デスクトップまたはスタートメニューの Jupiter2 アイコンをクリックします。拡張子が `.ls3`、`.sb3`、`.ls`、`.sb` のファイルをダブルクリックして起動することはできません。

起動すると下のメインメニュー画面が表示されます。

7. 環境設定

最初に[環境設定]を行います。

デフォルト保存フォルダ	作成したデータを保存する場所を指定します。指定しない場合、前回保存した場所が表示されます。
MDB ファイル 1	Jupiter2 インストールフォルダ→CatalogDB フォルダの UserMaster.mdb ファイルを指定します。
イメージフォルダ 1	Jupiter2 インストールフォルダ→UserImage フォルダを指定します。
MDB ファイル 2	*4 Jupiter2 インストールフォルダ→CatalogDB フォルダの UchidaMaster-K.mdb ファイルを指定します。
イメージフォルダ 2	*4 教育版画像データ保存フォルダを指定。
MDB ファイル 3	Jupiter2 インストールフォルダ→CatalogDB フォルダの UchidaMaster.mdb ファイルを指定します。
イメージフォルダ 3	オフィス版画像データ保存フォルダを指定。画像データをハードディスクにコピーせずに利用する場合は、DVD-ROMドライブを指定します。
消費税率	消費税率に変更があった場合に変更します。

*4 教育版利用の場合のみ指定します。それ以外の場合は空白とします。

【設定例】

デフォルトの設定でインストールし、オフィス版画像データを Jupiter2 フォルダに CD1 というフォルダを作成してコピーし、保存フォルダは指定しない、とした場合の環境設定は次の通りとなります。(CD1 フォルダにはオフィス版 DVD の img1 フォルダと col フォルダが入ります。)

デフォルト保存フォルダ	(空白)
MDB ファイル 1	C:¥Jupiter2¥CatalogDB¥UserMaster.mdb
イメージフォルダ 1	C:¥Jupiter2¥UserImages
MDB ファイル 2	(空白)*5
イメージフォルダ 2	(空白)*5
MDB ファイル 3	C:¥Jupiter2¥CatalogDB¥UchidaMaster.mdb
イメージフォルダ 3	C:¥Jupiter2¥CD1
消費税率	5

*5 教育版利用で上記の環境に加え、教育画像を CD3 フォルダにコピーしている場合

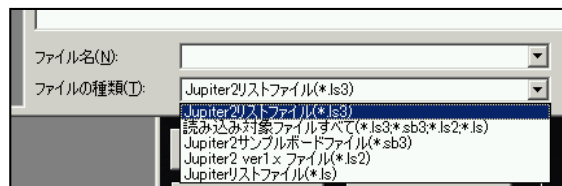
MDB ファイル 2 C:¥Jupiter2¥CatalogDB¥UchidaMaster-k.mdb
 イメージフォルダ 2 C:¥Jupiter2¥CD3

となります。(CD3 フォルダの中に教育版 DVD の img1 フォルダと col フォルダが入ります)

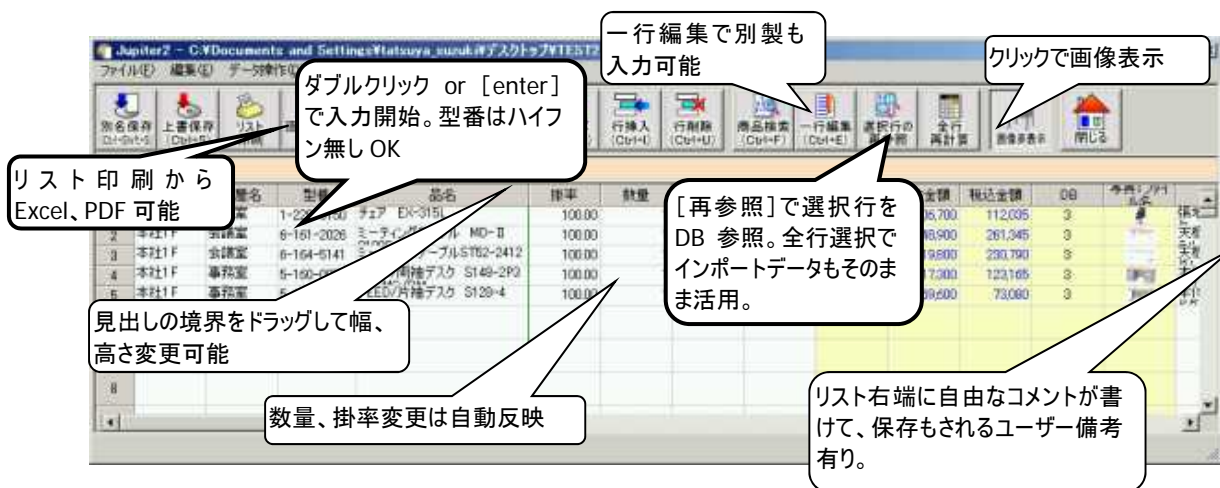
8. リストの作成・編集

リストの[新規作成]をクリックすると、ファイル名、保存場所を指定するウィンドウが表示されるので任意のファイル名を指定します。

Jupiter2 作成済データを編集する、Venus、Rabbit など他のアプリケーションで作成したデータを利用する場合は[既存編集]を選択し、「ファイルの選択」ウィンドウでファイルの種類を選び編集するファイル指定します。Jupiter2 標準の ls3 形式のファイル以外の場合、自動的に ls3 形式へ変換(新規作成)され変換後のファイルが編集されます。変換元のファイルは変更されません。



入力画面では、「型番」に商品コード(ハイフンあり、なしとも可)を入力すると、商品名、価格などの付帯情報が表示されま



す。画像ファイル名が表示されない場合、その商品の画像データが収録されていないことを示します。当初の設定では画像そのものは表示されません。[画像表示]ボタン(次項参照)で画像表示と画像ファイル名表示が切り替わります。「掛率」は100%、「数量」は1が表示され、掛率・数量を変更すると本体価格、税込金額が自動計算されます。

商品コードに対して希望する商品画像が表示されない場合、[商品検索](次項参照)で型番検索を行うと別の画像が見つかることもあります。また、[1行編集](次項参照)で別の画像を利用することもできます。

入力後、カーソルは移動しませんので、マウスやキーボードで次の入力項目を選択してください。リスト画面で白地の項目は任意の内容に書き換えることができます。また、リスト右端には DB 備考、ユーザー備考欄があり、自由にコメントを記入することができ、リスト印刷時に「備考」に出力されます。ただし、ユーザー備考以外は[再参照](ショートカット説明参照)をすると内容が初期値に戻りますのでご注意ください。

「建物&フロア名」、「部屋名」は任意入力できます。印刷の際に、この部分の入力内容でグループ化、小計して表示されます。また、サンプルボードに変換した際には改ページされます。

【ショートカットボタンの機能】

- [別名保存] 編集中のリストに別の名前を付けて保存します。
- [上書き保存] 編集中のリストを上書き保存します。
- [リスト印刷] 印刷プレビュー画面が表示されます。プレビュー画面では画面表示倍率の変更、表示ウインドウのサイズ変更、印刷の実行のほか、[保存]からプレビューに表示された形でExcelファイル、PDFファイルへの保存ができます。Excelファイルに保存した場合、出力された内容を編集することができます。
- [画像付リスト印刷] 商品画像付のリストが表示されます。機能はリスト印刷と同じです。
- [コピー] 選択された項目の内容をコピーします。
- [切り取り] 選択部分の内容を消去します。
- [貼りつけ] 上記[コピー]、[切り取り]された内容を選択部分に貼りつけます。
- [縦複写] 縦方向に選択された項目の最上部の内容を下の項目に複写します。
- [行挿入] 選択された行の上に空白行を挿入します。
- [行削除] 選択された行を削除します。
- [一行編集] カタログ掲載外の商品データ、画像データ・画像を挿入できます。必要項目のみの入力です。画像データは参照ボタンを押してローカルデータを指定します。画像データファイル以外は入力リスト上でも設定できます。画像データはJupiter2 データファイルと同じ場所にコピーされ、以降画像データとセットになっていないと表示できなくなりますのでご注意ください。
- [選択行の再参照] 選択行の内容をDBから再読込して初期値にします。他のアプリケーションから変換したデータの場合、この処理により画像が表示されるようになります。複数行を選択して一括更新することも可能です。大量データの場合、処理完了までに時間がかかります。
- [全行再計算] 掛率、数量、本体価格を[貼り付け]で変更した場合、自動計算されませんのでこのボタンで一括再計算を行います。
- [画像表示] 入力リスト上での商品画像の表示・非表示をトグル動作で変更します。
- [閉じる] リストを閉じます。



【その他の機能】

ファイルメニュー

 エクスポート

 └LS(Jupiter1) 書出し: .ls ファイルを出力し、Venus、Rabbit にデータを取り込むことができます。

 └画像ファイルの書出し: リスト商品の**画像ファイルのみ**を指定するフォルダに**出力**します。

復帰: リスト内容を最後に保存した状態に戻します。

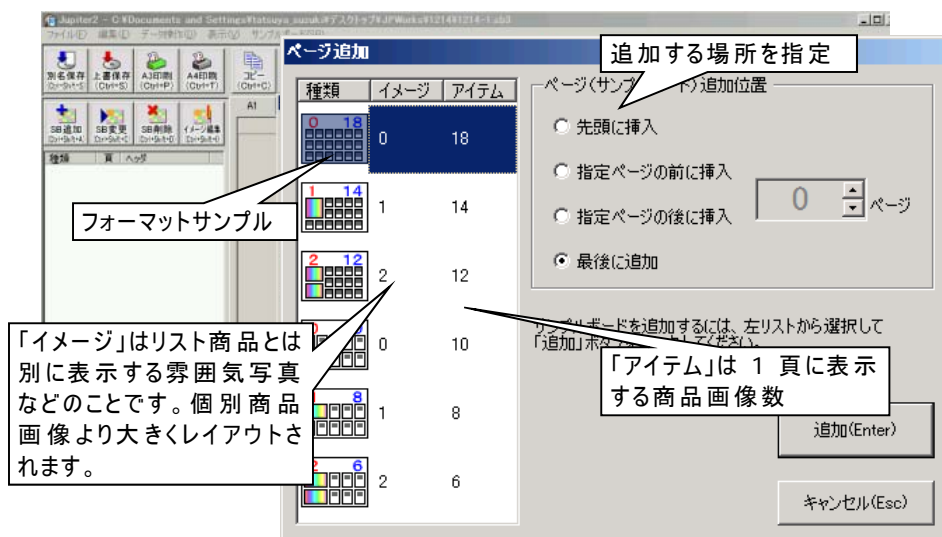
Jupiter2 は「元に戻す」(Ctrl+Z)機能はありません。随時、上書き保存するなどご対応ください。

9. サンプルボードの作成・編集

[新規作成]をクリックすると、ファイル名を指定するウインドウが表示されますので、場所を確認して任意のファイル名を指定します。



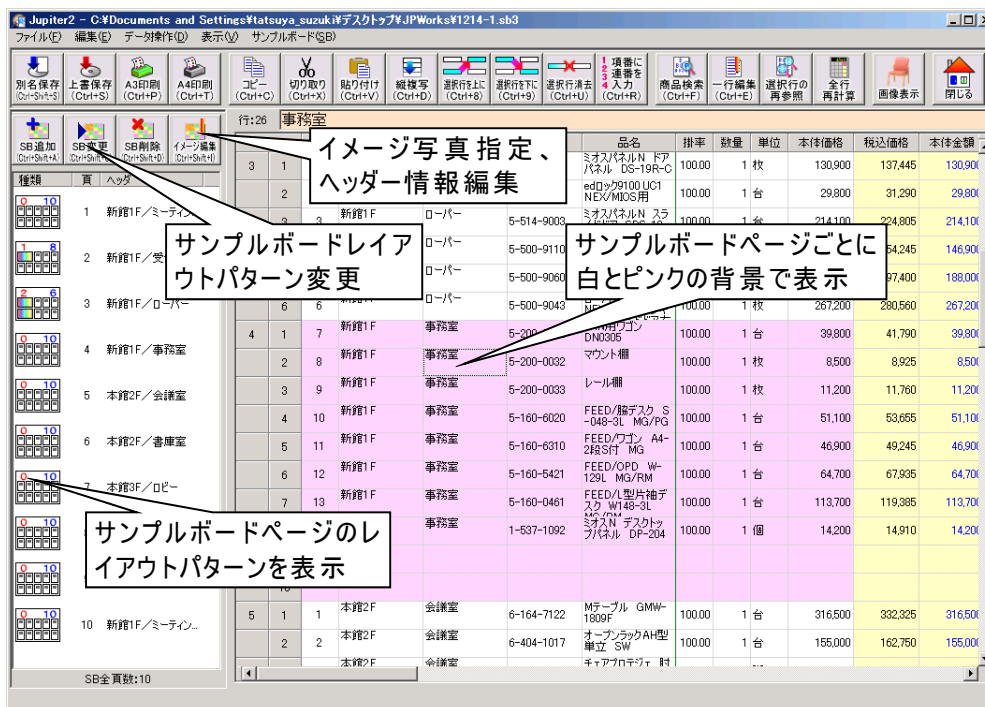
最初に[SB 追加]をクリックしてサンプルボードのフォーマットを選択してサンプルボードページを追加します。選択したサンプルボードのコマ数に従った入力リストが表示されます。一つのファイルに複数のサンプルボードフォーマットを入れるこ



とが可能です。リストの入力方法は商品リストの場合と同じです。

作成済みサンプルボードデータを編集する、または、Jupiter2 で作成したリストデータを元にサンプルボードを作成する、Venus、Rabbit など他のアプリケーションで作成したデータを利用する場合は[既存編集]を選択し、「ファイルの選択」ウインドウでファイルの種類を選び編集するファイルを指定します。

Jupiter2 標準の sb3 形式のファイル以外の場合、自動的に sb3 形式へ変換(新規作成)され変換後のファイルが編集され、変換元のファイルは変更されません。また、このときサンプルボードフォーマットは自動的にイメージ写真なし・アイテム数 10 個のレイアウトとなり、建物&フロア名、部屋名で改ページされて表示されます。アイテム数が 10 個より少ないページでは空白行が挿入されます。また、商品リストの場合同様、[再参照]を行わないと画像が表示されません。



【ショートカットボタンの機能】 商品リストにある機能は省略します

[SB 追加]

前項参照

[SB 変更]



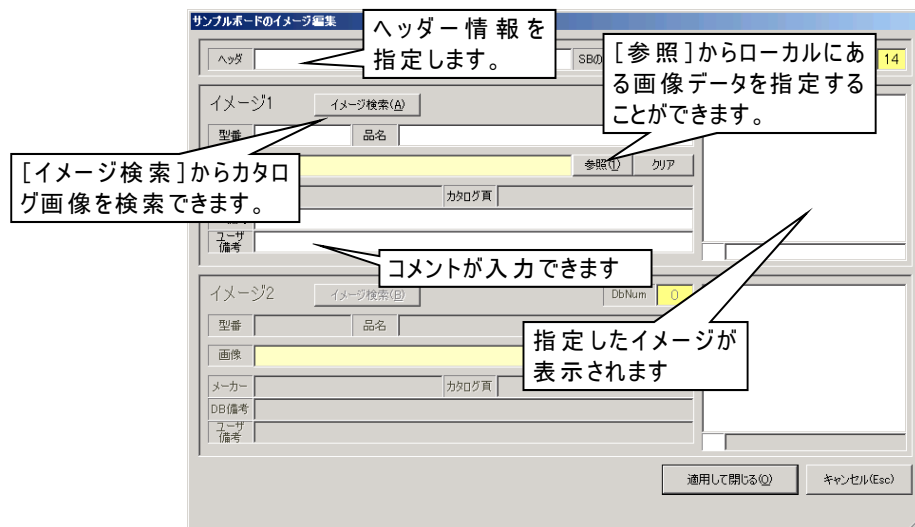
を変更します。対象のサンプルボードを選択してホ

に

変更しておく必要があります。変更後のアイテム数を超えるアイテム数があった場合、そのデータは削除され、元に戻せません。

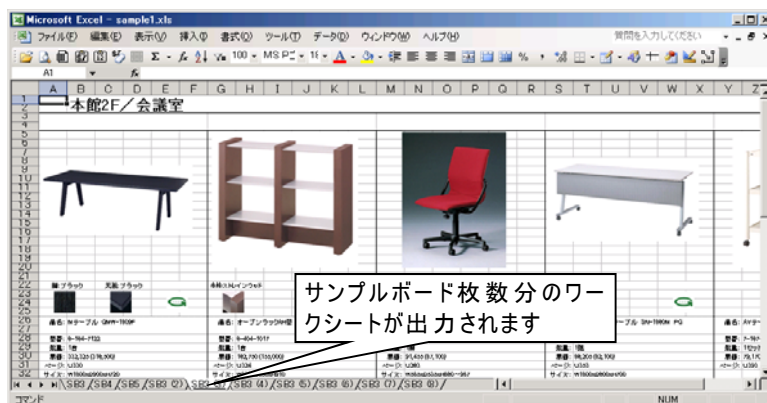
[SB 削除]

選択したサンプルボードを削除します。そのサンプルボードに含まれるリストデータも削除されますのでご注意ください。



[イメージ編集]

イメージ付サンプルボードを選択した場合、このウインドウでイメージ写真を指定します。イメージ検索から、カタログページを指定して希望の画像を選択、あるいは、参照ボタンにより手持ちの画像データを利用することも可能です。ユーザー備考に入力した内容が画像の下に表示されますので、コメントなどがある場合に利用ください。イメージ無しの場合もヘッダー情報はここで指定します。



[A3(A4)印刷]

サンプルボードを A3、または、A4 フォーマットで印刷プレビューします。プレビュー画面から印刷、および、Excel ファイル、PDF ファイルでの保存もできます。

Excel ファイルに出力した場合、一枚のサンプルボードが一つのワークシートに出力され、複数ページのサンプルボードがある場合は、ワークシートがそのページ枚数分出力されます。大量のサンプルボードをExcel出力すると、そのファイルが開けなくなることがありますのでご注意ください。目安として、**最大 20 枚程度**とすることをお勧めします。

Excel から印刷する場合、複数ワークシートを選択して印刷することにより、サンプルボードの全ページを一度に印刷することができます。

- [項番に連番...] 選択された項番に連番を振ります。
- [選択行を上、下] 選択している行を上、あるいは、下に移動します。複数行選択にも対応しています。また、サンプルボードページをまたいだ移動も可能。

10. ユーザーデータ登録・編集

定番的に利用されるウチダカタログ商品以外のオリジナル商品をデータベース登録して利用することができます。ただし、作成したls3ファイル、sb3ファイルを他の人とやりとりした場合、正しく表示できませんのでご注意ください。

【ユーザーデータ登録】

- 1) リスト入力、または、サンプルボード入力画面で[一行編集]をクリック。または、メインメニュー画面の[商品イメージ検索]より、[DB登録]をクリックします。
- 2) 商品情報を入力し[ユーザ DB(DB1)に新規登録]でユーザ DB に登録されます

【注意】同じ型番がすでに登録されていると登録できません

The screenshot shows the '一行編集' (Edit Row) window. It includes fields for '行番号' (Row No.) set to 1, 'DbNum' set to 3, 'フロア名' (Floor Name), '品名' (Product Name) 'T3/TT-1212AJ SM/RM', '本体価格' (Base Price) 111,000, '数量' (Quantity) 1, '掛率' (Rate) 100.00, and '税込価格' (Taxed Price) 116,550. There are also fields for '画像' (Image), '色1' (Color 1), '色2' (Color 2), '色3' (Color 3), '単位' (Unit) '台', '本体サイズ' (Body Size) 'W1200xD1200xH720', '質量' (Weight) 43.7, 'メーカー' (Manufacturer) '内田洋行', and 'カタログ頁' (Catalog Page) 'U134'. The 'ユーザ備考' (User Remarks) field is empty. The 'ユーザDB(DB1)に新規登録' button is highlighted with a red circle. The right side of the window shows a preview of a table and a list of image files: 1 | SM.JPG, 2 | DAS08-01, 3 | GREEN.JPG, and 1 | U08FS111D.JPG.

- 3) 画像ファイルは環境設定のイメージフォルダ1で設定されたフォルダにコピーされます。(同時名前前のファイルがあるときは上書き確認されます)
- 4) 登録した型番をリストで入力すると、ユーザ DB に登録された情報が呼び出されます。

【ユーザーデータ編集】

メインメニューの[商品イメージ検索]、または、リスト入力画面、サンプルボード入力画面の[商品検索]で対象型番を入力し、検索条件の「DB」欄を「DB・1のみ」として検索を実行します。該当商品を選択して情報修正を行い、[DB1に変更を登録]で修正された情報が登録されます。画像を修正した場合は、新規登録同様に画像ファイルがイメージフォルダ1で設定されたフォルダにコピーされます。

【ユーザーデータ削除】

リスト入力画面、サンプルボード入力画面の[商品検索]、または、メインメニュー[商品イメージ検索]で対象型番を入力し、検索条件の「DB」欄を「DB・1のみ」として検索を実行し、対象商品情報を表示し[DB1から削除]で削除が実行されます。

【他の商品情報を流用して登録】

リスト入力、サンプルボード入力画面で流用する商品の型番を入力して[1行編集]をクリックします。必要な情報の修正を行い、型番をオリジナルのものに変更して[DB1に登録]します。

11. Q & A

・メインメニューにボタンが表示されない

Windows の文字サイズの設定が大きいと、ウインドウからボタンがはみ出してしまいます。

→【Win7】デスクトップを右クリック>「画面の解像度」>「テキストやその他の項目の大きさの変更」で「小」を選ぶ。

・新商品が表示されない／商品の価格やカタログページ数が古い

新しいデータがインストールされていません。

画像ファイルをコピーするだけでは商品情報は更新されません。インストールプログラムでプログラムとデータをインストールして下さい。

または、古いバージョンと別にインストールして、デスクトップのショートカットから起動したものが古いバージョンなことも考えられます。

環境設定のファイルパスを確認してください。Jupiter2を一旦アンインストールして Jupiter2 フォルダ (通常は C:\¥Jupiter2) を削除してから改めてインストールし直してもよいでしょう。

・従来の商品は大丈夫だが新商品の写真が表示されない

インストールプログラムでインストールされるのは商品の文字情報のみです。画像ファイルは DVD から手作業で PC にコピーし、その場所 (ファイルパス) を環境設定で設定する必要があります。

画像ファイルは大量なので、ファイルコピーが途中で失敗する場合があります。その場合は一度にまとめてコピーせずに、フォルダ内の細かい単位で何回かに分けてコピーを行って下さい。

・「HRESULT 例外エラー 0x8007007e」

Jupiter2 を起動するときにメインメニューが正常に表示されず上記のエラーが出る場合は、必要なバージョンの .NET Framework が設定されていません。インストールを行って下さい。

12. お問い合わせ

Jupiter2 についてのお問合せは、e メール、FAX にて対応させていただいております。但し、ご返答までにお時間をいただくこともありますのでご了承ください。

お問い合わせの際は、Jupiter2 のバージョン、症状、内容、及び、ご利用環境 (Windows や Excel のバージョン)なども合わせてお知らせ下さい。

e メール jupiter@uchida.co.jp

FAX 03-3555-6490